

第2660地区 インターアクト新入生歓迎会

インターアクト委員会 委員長 **鮫島武信**
(大阪南RC)

6月1日、盛夏を思わず晴天の日曜日、インターアクト新入生歓迎会は開催されました。

四天王寺学園中学・高等学校に、大阪桐蔭・浪速・金光八尾・清風・相愛・大阪国際大和田・四天王寺の各校における中学生・高校生のインターアクター119名、顧問の先生19名、ロータリアン30名、事務局1名の合計169名が集まり、新入生歓迎会を行いました。

【開会式】

開会式では、松井隆雄委員長から新入生に対する歓迎の言葉とインターアクトの活動内容等についての説明がありました。また、福家ガバナー代理の新見葵ガバナー補佐からは、青少年の健全な育成にインターアクトクラブの果たす役割の重要性と期待を込めた激励の言葉が贈られました。

【天王寺七坂へのウォークラリー】

参加したインターアクターとロータリアンは、10人程度のグループに分かれて、ウォークラリーに出発しました。グループのリーダー役は、四天王寺学園のインターアクターが務めて、彼女たちの引率により、四天王寺七坂を巡りました。四天王寺七坂とは、南から北へ、逢坂(おうさか)、天神坂(てんじんざか)、清水坂(きよみずざか)、愛染坂(あいぜんざか)、口縄坂(くちなわざか)、源聖寺坂(げんしょうじざか)、真言坂(しんごんざか)の上町台地沿いに並ぶ七つの坂の総称です。真田幸村の終焉の地と言われその碑と像があったり、大阪の夏祭のスタートとなる愛染堂があったりと、それぞれの歴史と特色をもった坂を、近くの社寺仏閣に備えつけられたスタンプを押しながら、登ったり下ったり、汗をかきかき巡りました。

予定時間内に七つの坂を回れたグループ、予定時間を厳守して全部の坂を回れなかったグループ、予定時間を少々オーバーしても全部の坂を回ったグループなど、各グループで、その判断が分されました。いずれのグループでも、リーダーを中心にその方針が決定され、炎天下でも熱中症になることなく、全員が無事、ゴールしました。リーダーシップの養成という、インターアクトクラブ提唱の目的からも、意義深いウォークラリーとなりました。

【落語会】

昼食後には、ボランティアの落語家2名による落語会が行われ、「天王寺参り」の落語を楽しみました。会場の

四天王寺学園は四天王寺の境内にありますが、「天王寺参り」は、この四天王寺に詣でる情景を面白可笑しく描いた落語です。午前中に巡った四天王寺七坂を思いながら、四天王寺に参拝する嘶を聞くと、普通の落語会では味わえない時空を超えた立体的な嘶の世界に引き込まれてしまいました。

【閉会式】

閉会式では、次年度当番校(幹事校)への地区旗の引継ぎがなされると共に、2013~2014年度に7つ目のインターアクトクラブとして誕生した大阪国際大和田中学校・高等学校(守口イブニングRC提唱)の紹介と挨拶が行われました。この新しいクラブの誕生を祝うと共に、行事中には、学校の柵を超えてインターアクター同士の会話が聞こえたり、インターアクターとロータリアンとが散策ルートを相談したり、坂に因む話をロータリアンがインターアクター達に聞かせたりと、新入生を歓迎すると共に世代を超えた交流がなされ、意義ある行事となったと存じます。

最後になりましたが、このような素晴らしい新入生歓迎会を企画、運営して頂きました四天王寺学園中学・高等学校のインターアクトクラブの皆さま、顧問の先生方、大阪天王寺ロータリークラブの皆さま、そしてガバナー事務所の皆さまに心から感謝申し上げます。

今後ともインターアクトクラブの活動に、ご理解とご支援をよろしくお願い致します。

